

取扱説明書及び部品表

Takakita

可変径ローバレーラ

北海道仕様	VC1620
都府県仕様	VC1620N

※都府県仕様の取扱説明書と部品表は、北海道仕様の型式をご参照ください



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管して下さい。

株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**可変径ロールペーラ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。

ご使用前には必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店または当社にご注文ください。(部品コードは裏表紙に記載してあります。)
- 本書は**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。



警告サイン



印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	9
各部の名称とはたらき	10
作業前点検	24
トラクタへの装着	26
1. ドローバへの装着のしかた	26
2. ユニバーサルジョイントの取付け	27
3. 油圧ホースの接続	27
4. コントロールボックスの接続	28
5. 灯火の接続	28
運転に必要な装置の取扱い	29
1. ベール直径、密度の取扱	29
2. 累積表示の取扱い	29
3. ピックアップドラムの高さ調整	29
4. グラスプレスローラの高さ調製	29
5. ステップの取扱い	30
6. リヤチャンバの下降防止	30
7. ネットの取付けと通し方	30
8. トワインの取付けと通し方 (オプション)	32
9. トワイン巻付けピッチの調整 (オプション)	32
10. ナイフホルダ開閉の方法	34
11. 切断ナイフの取外し、取付け	35
12. 切断長の調整	37
作業方法	38
1. 作業手順と要点	38
2. 作物の拾い上げ	39
3. 作業時のカッティングドラム部 草詰まり解除	40
4. 作業時の結束手順とトラブル対応	41
5. ベールの放出(キッカー使用時)	42
6. ベールの放出(キッカー取外し時)	42
7. 傾斜地での作業	43
簡単な手入れと処置	44
1. 各部ローラチェーンの張り調整	44
2. 自動注油	46
3. 自動注油装置のエア抜き	47
5. グリースアップのしかた	47
6. チャンバ部のグリースアップ	48
7. オイル交換のしかた	49
8. タイヤの空気圧の調整、及び磨耗損傷	49
9. 車輪止め	49
10. タイトベルトテンションの緩めかた	50
11. ベール圧力制御バルブ操作	51
不調診断	52
付 表	55
1. 主要諸元	55
2. 主な消耗品	55
3. オイル	55
4. 構成部品の位置(電装)	56
5. 配線図	57
6. ローラの配置とタイトベルトの通し方	58
7. 油圧回路図	59

安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある**!**表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

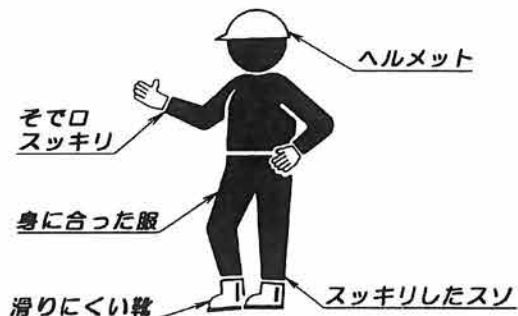
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。
- 16歳未満の人



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

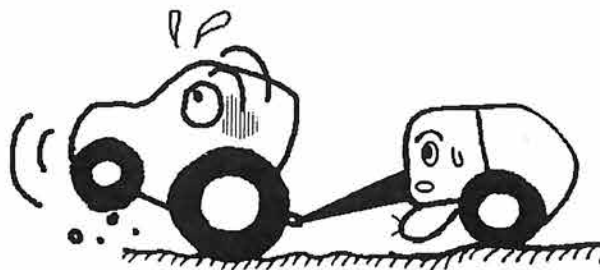
● 適応トラクタ馬力

型 式	適用馬力 kW (PS)
VC1620	58.8～99.3 kW (80～135 PS)

- 装着方式 : ドローバ
- PTO回転速度 : 540 min⁻¹
- 電源用バッテリー : DC12V
- 油圧取り出し : 複動油圧 1 系統
単動油圧 2 系統
- 油圧最高圧 : 20.5MPa(210 bar)

(4) 装着時の前後のバランス確認

トラクタに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保してください。できなければ装着しないでください。



(5) バランスウエイトの取付け

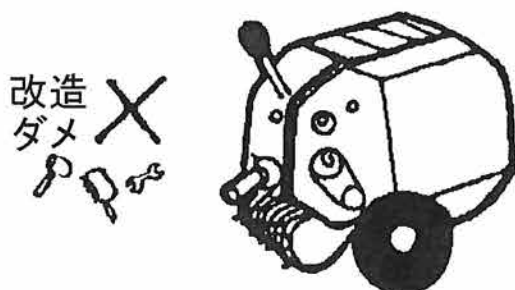
トラクタのバランスウエイトは指定されたウエイト以外は取付けしないでください。

⚠ 安全に作業するために

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

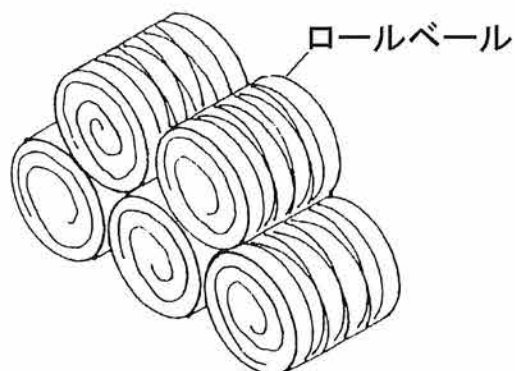
また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

稲わら、麦稈、牧草のロールバール梱包を目的として作られた機械です。

他の目的には使用しないでください。



(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) ナイフに注意すること

ナイフ類は、絶対に素手で触れないでください。必ず手袋などの保護具を着用してください。



⚠ 安全に作業するために

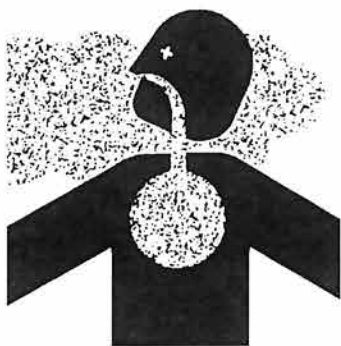
(5) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



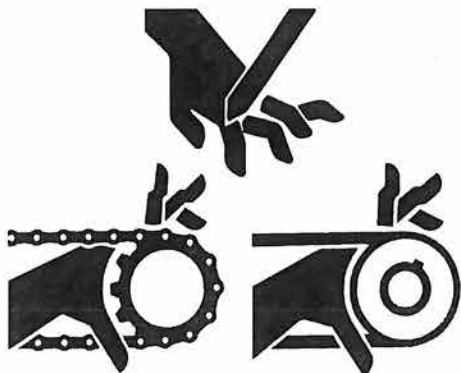
(6) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときは、エンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(7) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを止めてから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(8) 注油・給油するときは

PTOを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。

(9) コントロールボックスの電源脱・着は

トラクタのバッテリーより電源を取出します。その取付け方法は、+側から行ってください。外すときは、-側から行ってください。逆にすると火花が飛び危険です。(詳細は本文の『コントロールボックス』の取付けを参照してください。)



(10) タイヤの点検・修理をするときは

- ① タイヤの空気圧は、規定の空気圧を必ず守ってください。
- ② 空気の入れ過ぎはタイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- ③ タイヤに傷があり、その傷がコード(糸)に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破損の恐れがあります。
- ④ タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは十分な整備設備をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップなどの専門店で依頼してください。



⚠ 安全に作業するために

(11) 長期格納するとき

機械をきれいにし、回転部には十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。
コントロールボックスは、トラクタより取外して屋内の乾燥した場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

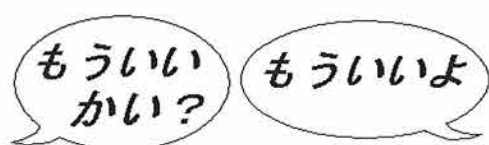


(2) PTO回転中は危険です

回転部には近寄らない。触れないを守ってください。

(3) 2人以上で作業するとき

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを開始するとき

PTOを切り、変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

(5) 急な発進・停止・旋回・スピードの出し過ぎ禁止

スピードを出し過ぎたり、急な発進・停止・旋回は事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多い場所や傾斜地は危険です。
作業スピードは極力低くして作業を行ってください。



(6) 傾斜地で作業するときは次のことを必ず守ってください

① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

斜面の作業は、必ず直角方向に走行してください。

② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

③ 傾斜地でのバール放出は、谷側にバールが転がって危険です。必ず平坦地まで移動して、安全な場所で放出してください。

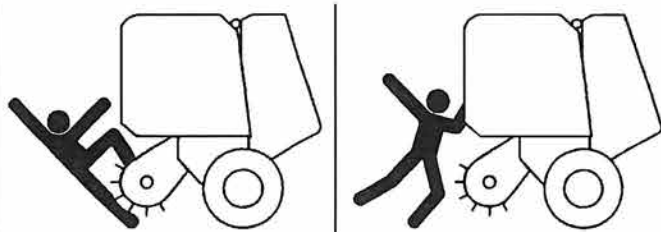


⚠ 安全に作業するために

- (7) 回転中のユニバーサルジョイントには触れない
回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



- (8) 回転中のピックアップドラムやタイトベルトには触れない
回転しているピックアップドラムやタイトベルトに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



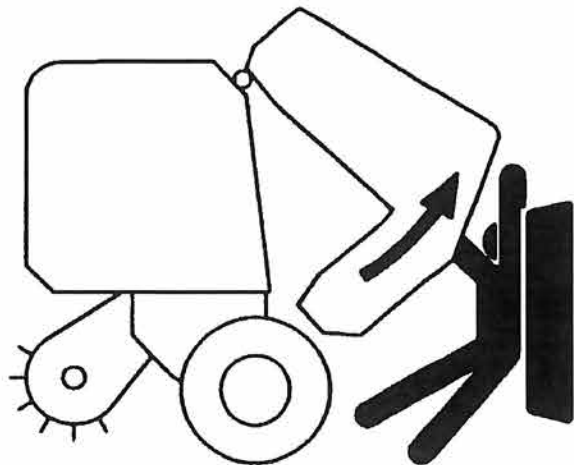
- (9) 移動及び作業の旋回時は
トラクタに本機を牽引して旋回するときは、内輪差が生じるので十分注意してください。急旋回は危険ですので行わないでください。



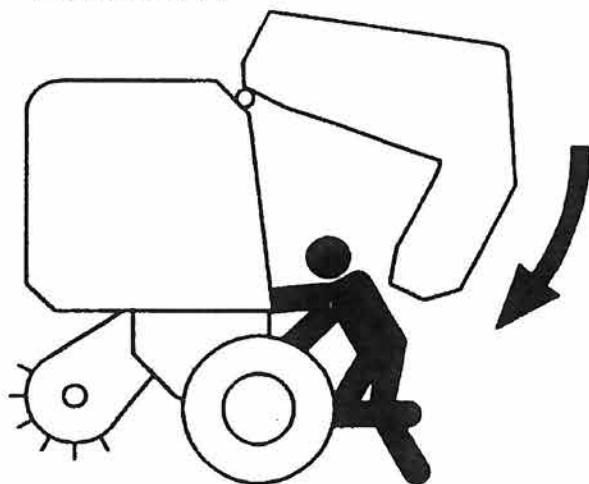
- (10) 巻き付き草などを取り除くときは
PTOを切り、エンジンを必ず止め、回転部が完全に停止してから行ってください。



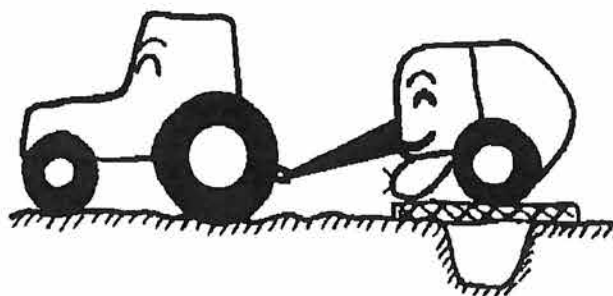
- (11) ベールを放出するときは
ベールの放出は、後方に人がいないことや、障害物のないことを十分確認し、放出距離を考慮して放出してください。



- (12) チャンバを開けて作業するときは
左右のシリンダストップバルブを必ずロックしてください。ロックしないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



- (13) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは
スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



⚠ 安全に作業するために

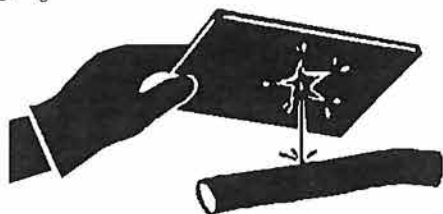
(14) 作業途中で運転席より離れるときは

平坦な場所に停止し、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛け本作業機側に車止めをしてください。



(15) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油による傷害を防止するために、配管・ホースなどの取外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締付けてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。
手で油漏れを探すことは止めてください。必ず保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。



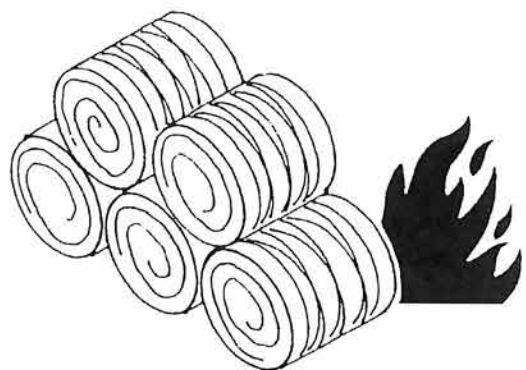
(16) 高温油に注意してください

- ①高温油による傷害を防止するために、作業直後の注油やミッションのオイル交換はしないでください。作業前か十分温度が冷えてから行ってください。
- ②火傷やケガを負った場合は、速やかに医師の診療を受けてください。



(17) 乾草に注意

乾燥不十分な牧草をロールベールに成形すると、ロールベール内部からの発火により火災が発生する危険性があります。ロールベール成形後2～3日間は、風通しの良い屋外に仮置きした後、屋内に収納してください。



4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着して公道走行禁止

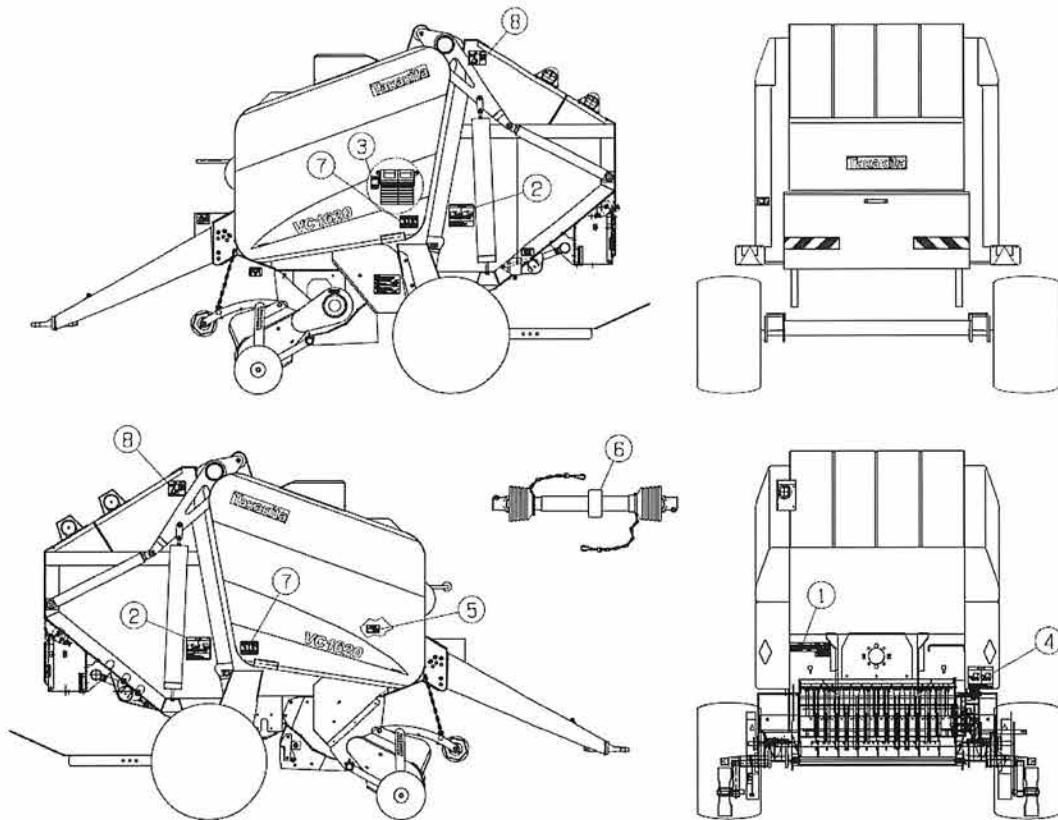
トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で印を付けて安全上の注意事項を表記しております。



⚠ 安全に作業するために

5.警告ラベルの貼付位置



① 部品コード 001306200310

② 部品コード 001206000310

⚠ 注意		⚠ 警告		⚠ 危険
1. 見直しや調整や修理の際には必ずエンジンを停止してください。 2. 点検のラベルは必ず点検の項目に記入してください。 3. エンジンの運転中に燃料タンクの蓋を開けないでください。 4. 作業中は人が乗ることを禁止してください。 5. 運転中にエンジンを停止させると、エンジンが再始動する場合があります。	エンジンが停止した状態で、燃料タンクの蓋を開けず、燃料タンクの蓋を開けるときは必ずエンジンを停止させてください。 6. 燃料タンクの蓋を開けるときは必ずエンジンを停止させてください。 7. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。 8. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。 9. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。 10. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。	エンジンが停止した状態で、燃料タンクの蓋を開けず、燃料タンクの蓋を開けるときは必ずエンジンを停止させてください。 6. 燃料タンクの蓋を開けるときは必ずエンジンを停止させてください。 7. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。 8. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。 9. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。 10. 点検・調整の際はエンジンを停止させてください。	点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止 点検時エンジン停止	危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険



③ 部品コード 001206000750

④ 部品コード 001206000321

⑤ 部品コード 001206000561



⚠ 安全に作業するために

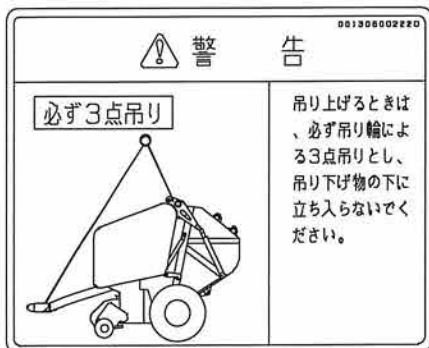
⑥部品コード 001306950010



⑦部品コード 001306200360



⑧部品コード 001306002220



警告ラベルの取扱注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにし、傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、柔らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等をロール成形する作業にご使用ください。

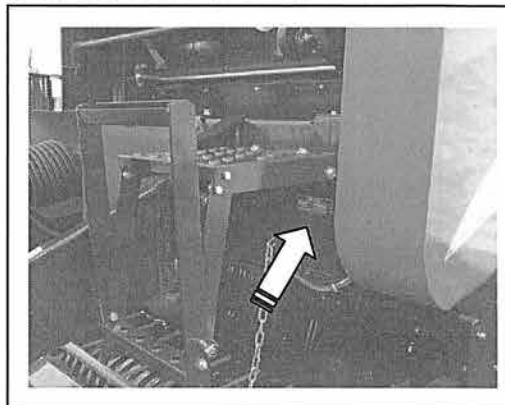
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。

(機体銘板貼付け位置図)



【連絡していただきたい内容】

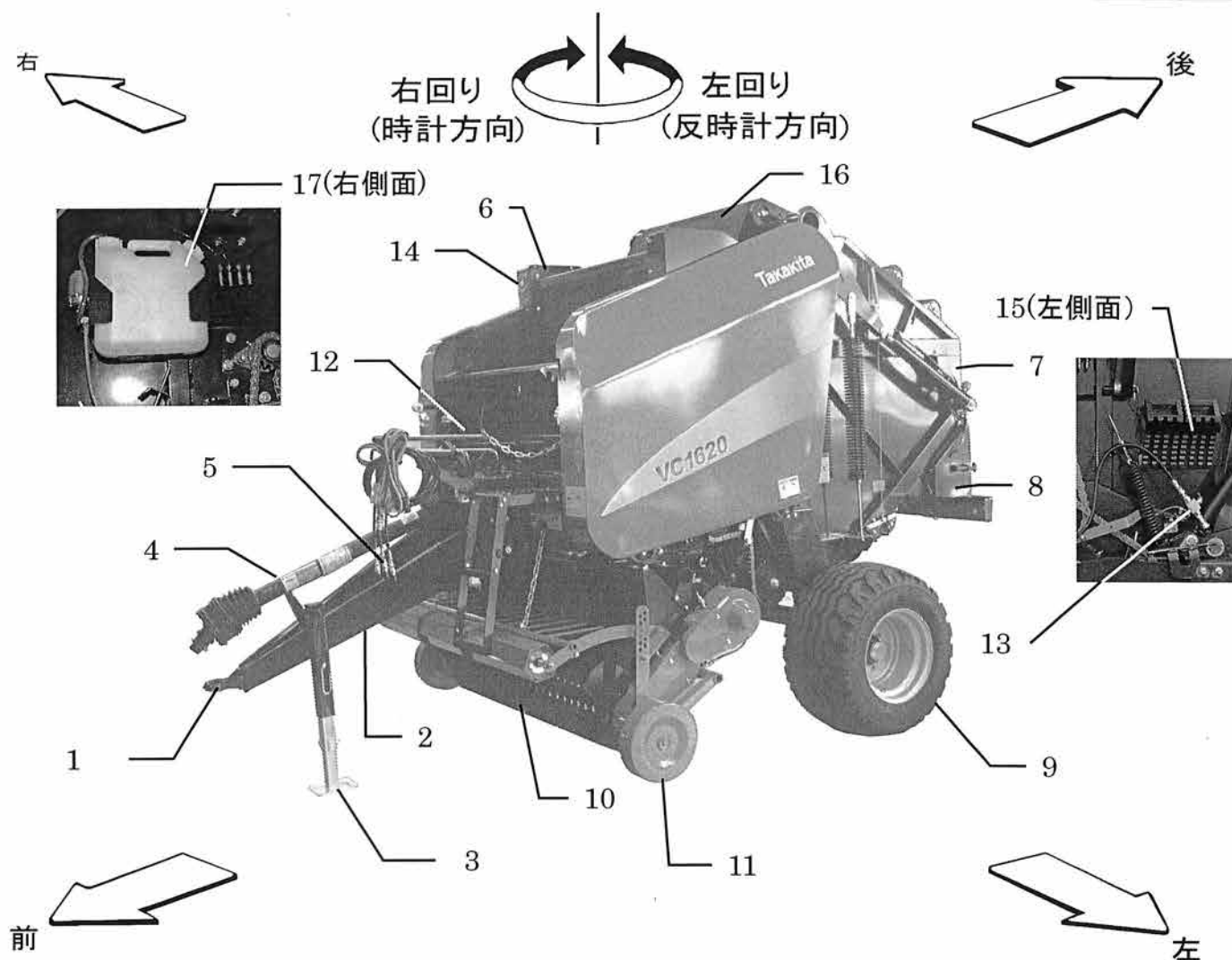
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	可変径ロールベアラ
型 式	VC1620
機 体 No. (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL: ()

各部の名称とはたらき

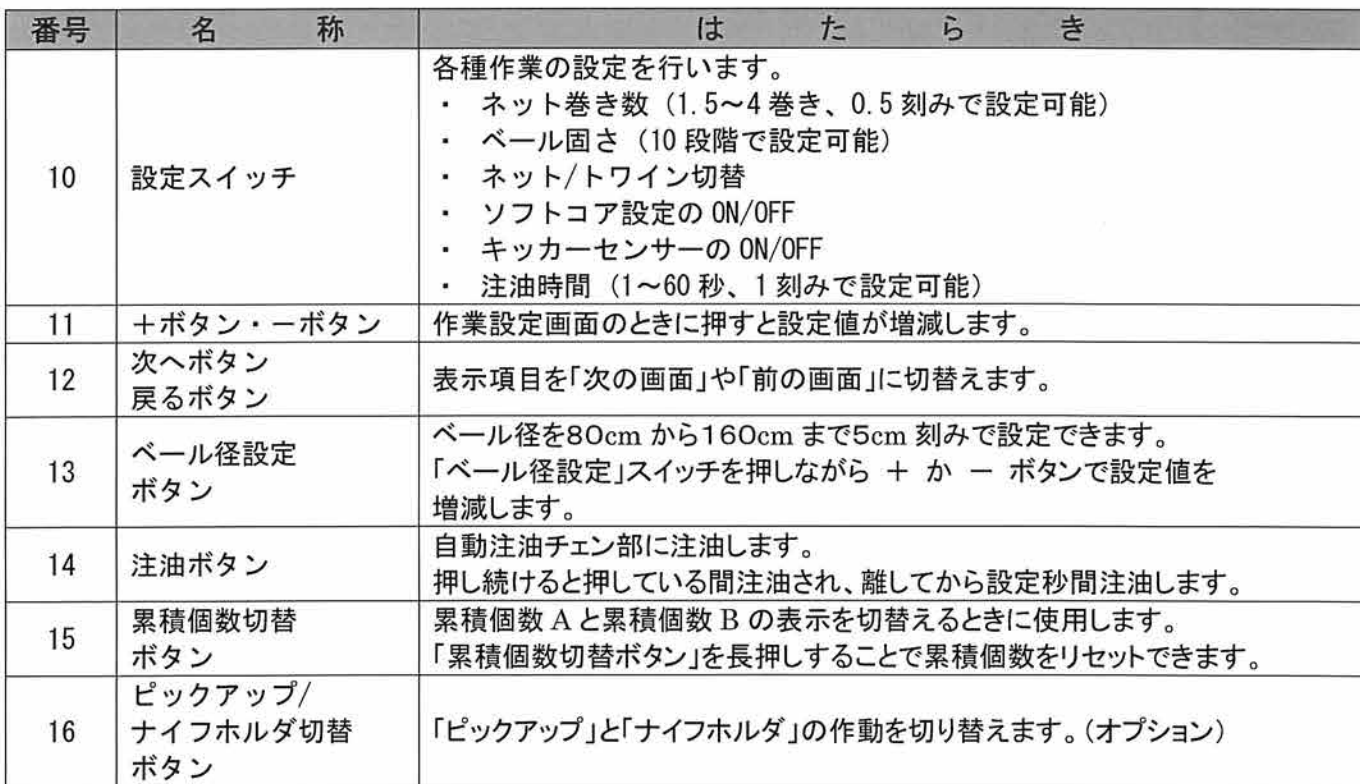


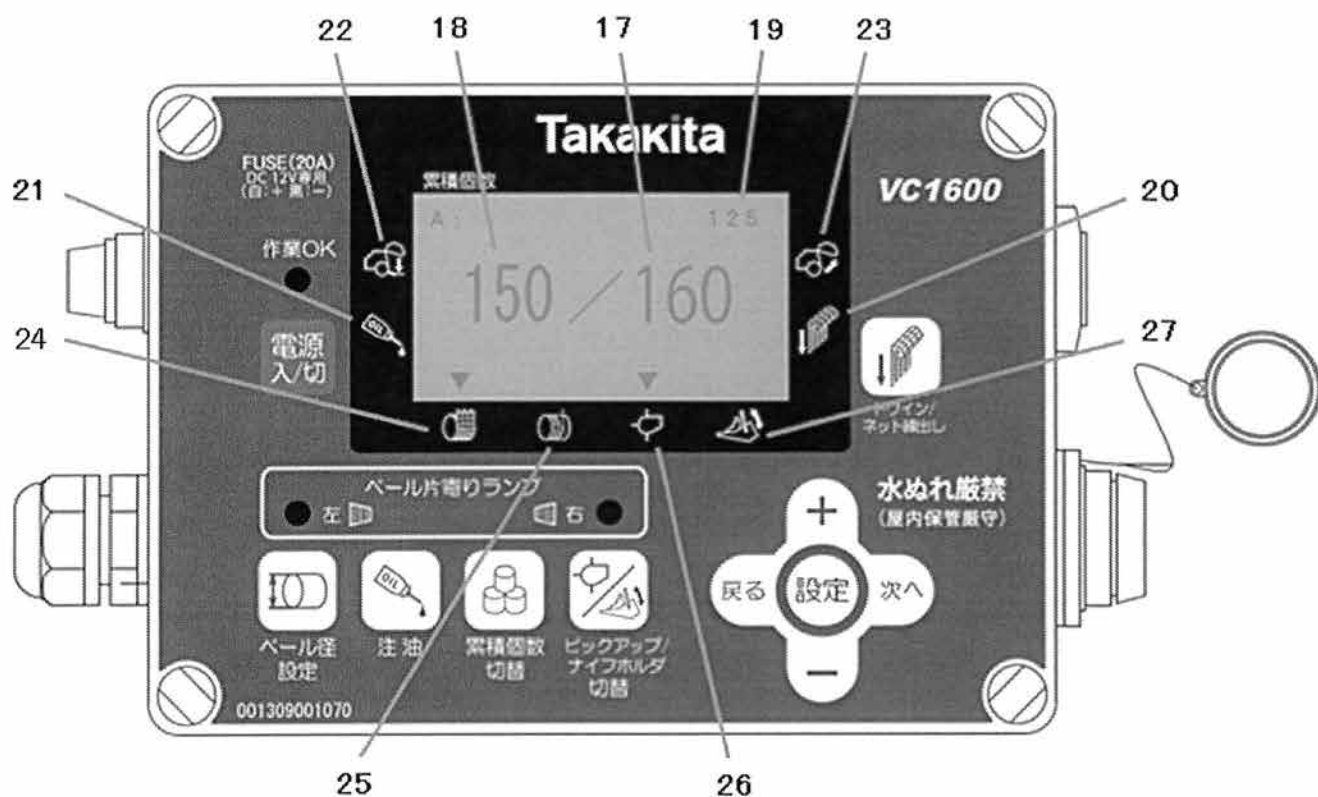
番号	名 称	は た ら き
1	ヒッチ	トラクタと連結します。
2	けん引かん	トラクタに合わせてヒッチの高さを調整します。
3	スタンド	トラクタの脱着時にヒッチの高さを調整します。
4	ユニバーサルジョイント	トラクタからの動力をつたえます。
5	油圧カプラ	トラクタから油圧の供給を受けます。
6	フロントチャンバ	ベールの成形を行います。
7	リアチャンバ	ベールを放出する為に開放します。
8	ネット・トワインボックス	ネット・トワインを収納する。
9	タイヤ	低圧広幅タイヤでほ場を傷めません。
10	ピックアップドラム	牧草を拾い上げます。
11	ゲージホイール	ピックアップドラムの拾い上げ高さを調節します。
12	ネット装置	ネットでベールを結束します。
13	シリンダストップバルブ	リアチャンバを開放して点検するときシリンダを固定します。
14	圧力ゲージ	ベールの成形圧力を表示します。
15	車輪止め	駐車時に車輪止めをして下さい。
16	タイトベルト	拾い上げた牧草をチャンバー内で回転させます。
17	オイルタンク	駆動チェンへ給油するためのオイルを入れます。 (タービンオイル ISO VG32を4ℓ)

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)



番号	名 称	は た ら き
1	ヒューズ	20Aのヒューズが入っています。 ※切れたら原因を取除き、新しいものと交換してください。 ※アンペア数が指定外の異なるヒューズを入れると、故障の原因となりますので行わないでください。
2	電源コネクタ	付属品の電源コードを利用し、バッテリーから直接接続してください。
3	警報ブザー	電源入と同時に「ピッピッ」と鳴ります。 設定ベール径間際で予鈴「ピッピッ・・・」設定ベール径で本鈴が「ピーー」と鳴り続けます。 トワイン/ネット繰出しと同時に「ピーー」と鳴り続けます。 作業エラー時に「ピーーピーー」と鳴り続けます。
4	入出力コネクタ	作業機側コントロールボックスと接続します。
5	液晶画面	作業状態、エラー内容を表示します。
6	作業 OK ランプ	本機が作業を行ってよい時（草を拾ってよい時）に点灯します。 作業 OK ランプが消灯しているときは作業を行わないでください。
7	ベール片寄りランプ	チャンバー内が空の時にはランプは消灯しています。 作業が開始されチャンバー内に草が入り始めるとランプが点灯し、作られているベールに片寄りがあるとランプが消灯します。 左側のランプが消灯した場合は左側に、右側のランプが消灯した場合は右側に草を入れるようトラクタを走行させてください。
8	電源入/切スイッチ	一度長押しするとコントロールボックスの電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。
9	トワイン/ネット繰出しスイッチ	設定ベール径の前にベールを結束したいときに使用します。 ※スイッチを押すとトワイン/ネットの強制繰出しを行います。 PTO が回転していないと繰出しできません。





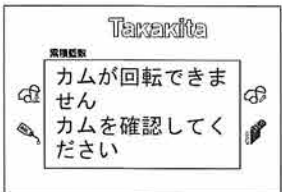
番号	名称	は た ら き
17	設定ボール径	設定したボール径が表示されます。
8	ボール径	現在のボール径が表示されます。(75cm～表示)
19	累積個数	作ったボールの個数が表示されます。
20	トワイン/ネット繰出しマーク	動作表示: トワイン/ネットを繰出しています
21	注油マーク	動作表示: 注油しています
22	キッカー降警告マーク	警告表示: キッカーが降りています
23	チャンバ開警告マーク	警告表示: チャンバが開いています
24	ネット巻き設定マーク	設定表示: ネット巻き設定
25	トワイン巻き設定マーク	設定表示: トワイン巻き設定
26	ピックアップ昇降設定マーク	設定表示: ピックアップ昇降設定(オプション用)
27	ナイフホルダ昇降設定マーク	設定表示: ナイフホルダ昇降設定(オプション用)

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆はたらき

「ディスプレイ」に、ロールベアラ部の作業状態や異常状態を表示します。
また、異常発生時は緊急度に応じてブザーを鳴らします。

記号の見かたは次のとおりです。

表示・機能	内容	正常時	異常時
ディスプレイ	ロールベアラ部の作業状態やセンサ異常について文字で表示します。	 静止画面	
ブザー警報	異常時やネット交換、作業完了時にブザーが鳴ります。	—	 連続音  断続音

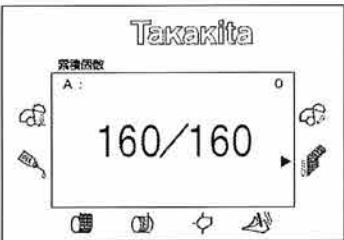
各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆表示内容

操作	表示内容	ディスプレイ画面	ブザー
電源ボタンを押してください(長押し)	バージョン情報を表示します。 ※電源を入れた時にカムが初期位置にない場合、自動的にカムが初期位置まで回転します。 初期画面を表示します。	 The first screenshot shows the main menu with 'Takakita' at the top, '系統図数' (System Diagram Number) on the left, and 'VC1600 VER 1' in the center. The second screenshot shows 'Takakita' at the top, '系統図数' on the left, and 'カム確認中' (Cam Check) in the center. The third screenshot shows 'Takakita' at the top, '系統図数' on the left, and '75/160' in the center, with 'A' in the top left corner and '0' in the top right corner.	

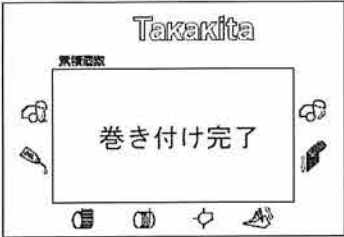
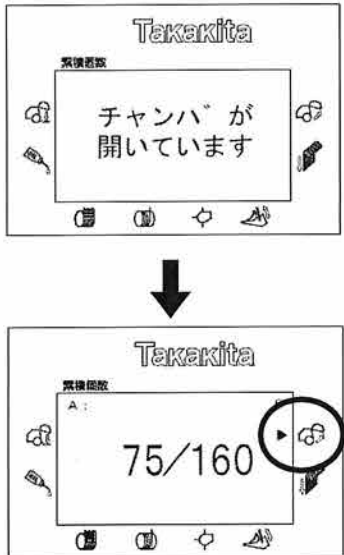
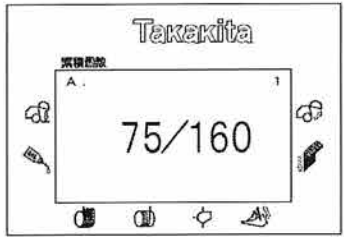
各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆作業時のコントロールボックス表示

ランプ	ディスプレイ画面	内容	ブザー
 点灯	1.メイン画面 	チャンバ内が空またはベール径が75未満のときに左図の画面が表示されます。 全てのセンサに異常がなければ「作業 OK」ランプが点灯し作業を開始することができます。	
	2.予感知 	チャンバ内のベール径が設定ベール径の90%に達したときに予鈴が鳴ります。	 断続音
	3.満了感知 	チャンバ内のベール径が設定ベール径に達したときに本鈴が鳴ります。	 連続音
 消灯	4.ネット繰出し 	設定ベール径に達すると「作業OK」ランプが消灯し、ネットが繰出され、ネット繰出しマークの横に「▶」マークが表示されます。	 連続音
	5.ネット結束 	ネットが繰出された後にネットの結束が始まり、液晶には「ネット結束中」の画面が表示されます。	

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆作業時のコントロールボックス表示

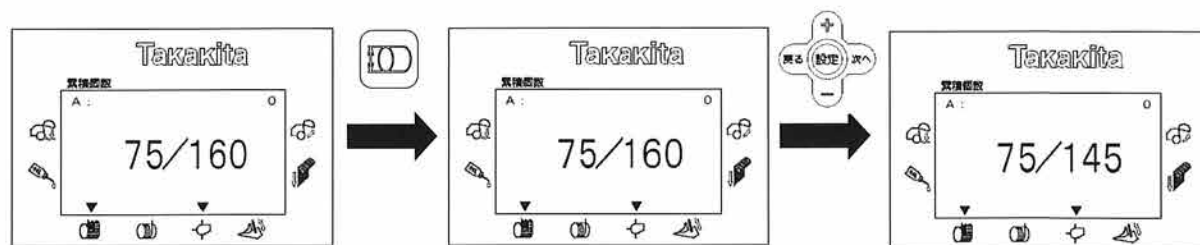
ランプ	ディスプレイ画面	内容	ブザー
作業OK 消灯	6.巻き付け完了 	ネットの結束が終わるとネット切断用のナイフが降り、液晶には「巻き付け完了」の画面が表示されます。	
	7.チャンバ開 	ベール放出のためにチャンバを開くと「チャンバが開いています」の警告が表示されます。	
作業OK 点灯	8.チャンバ閉 	ベールが放出されチャンバを閉じると累積個数が+1され「作業OK」ランプが点灯します。	

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆操作方法

【ボール径の設定】

初期画面で「ボール径」設定ボタンを押しながら「+」「-」ボタンを押して設定したいボール径に合わせます。



【チェン注油】

初期画面で「注油」ボタンを押します。
一度押すと自動注油チェンに設定秒間注油されます。
押し続けると押し続けている間注油され、離してから設定秒間注油します。
ボタンが押されてから3秒後に初期画面に戻ります。



【ボール累積個数切替】

「累積個数切替」ボタンを押すごとに「A」と「B」の表示を切替えることができます。
個数のカウントをリセットするには、「累積個数切替」ボタンを長押しします。

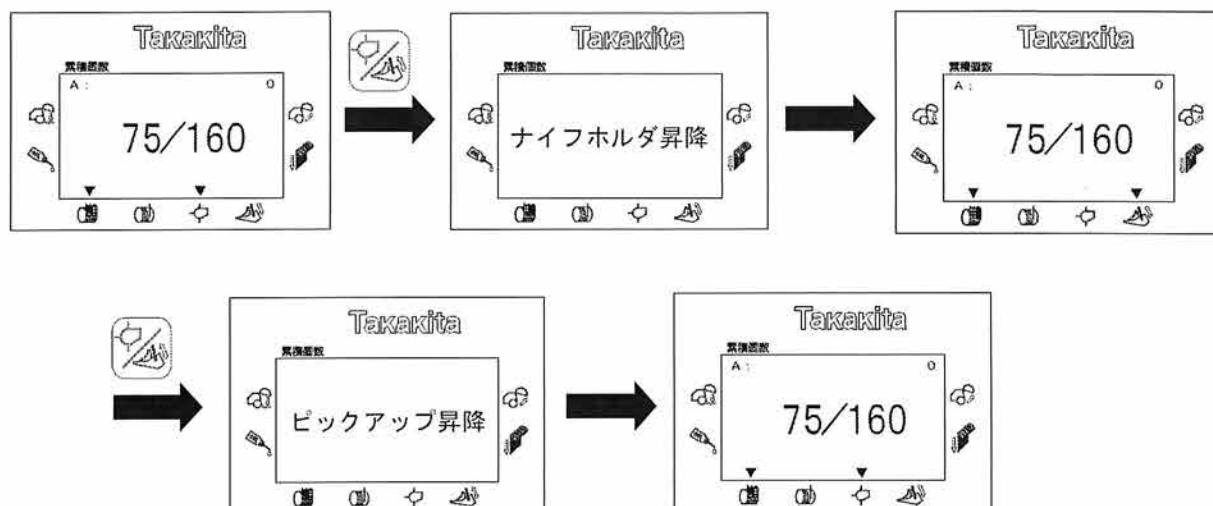


各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆操作方法

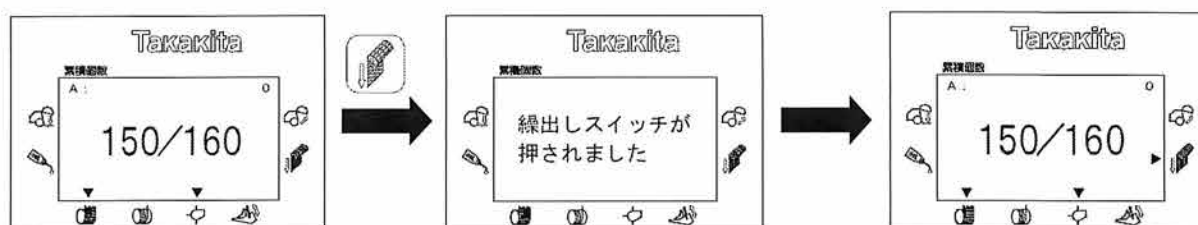
【ピックアップ／ナイフホルダ切替】(オプション)

「ピックアップ／ナイフホルダ切替」ボタンを押すごとに「ピックアップ」と「ナイフホルダ」の作動を切替えることができます。



【トワイン／ネット繰出し】

「トワイン／ネット繰出し」ボタンを押すと規定量のトワインまたはネットが繰出します。ボタンが押されてから3秒後に初期画面に戻ります。



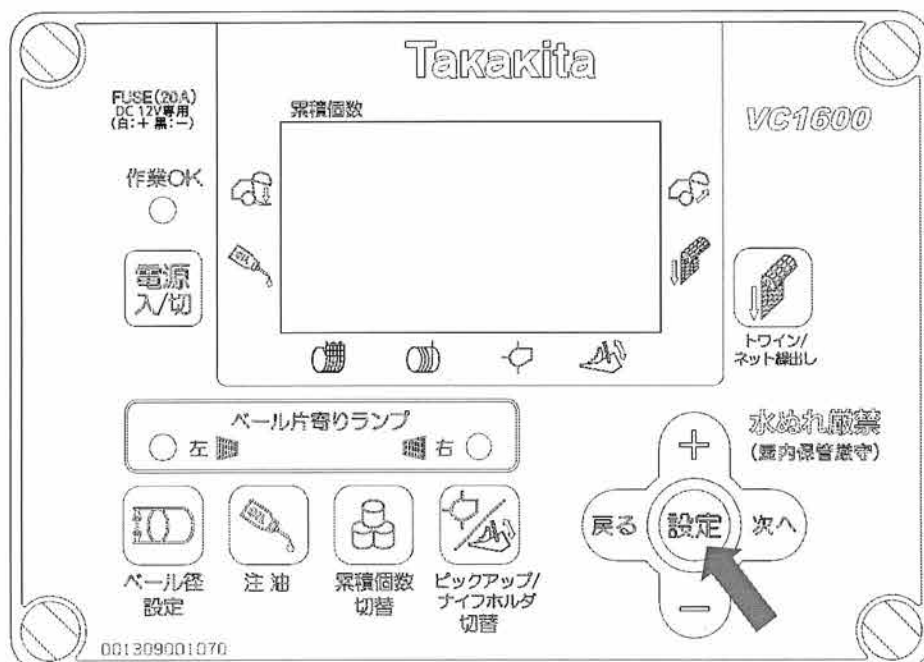
各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆設定モード

6つの項目の「作業設定」を変更することができます。

【設定モードへの移行のしかた】

(1) 初期画面の状態から「設定」ボタンを押します。



(2) 「戻る」または「次へ」ボタンで設定項目を切り替えます。

(3) 「+」または「-」ボタンで設定値を変更します。



(4) 設定完了後、「設定」ボタンを押し初期画面へ戻ります。

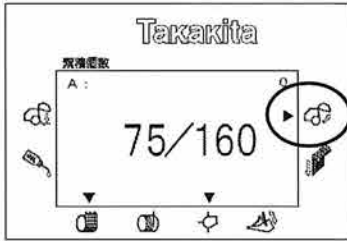
各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

【設定モード項目】

設定項目	表示画面	初期値	設定範囲
ネット巻数		2.5	1.5～4巻
ベール固さ		8	1～10 (1刻み)
「ネット」「トワイン」切替		ネット : 1	
ソフトコア切替		OFF : 0	
キッカーセンサ切替		ON : 1	※キッカーを取り外して作業を行う際は、キッカーセンサの設定をOFFにしてください。
給油時間		1	1～60 (1刻み)

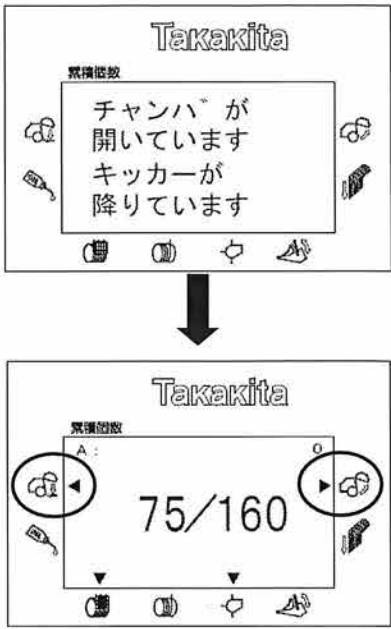
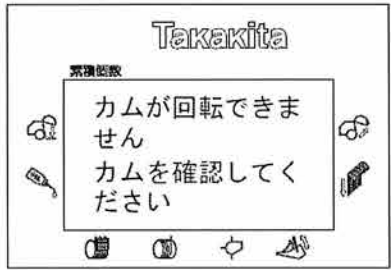
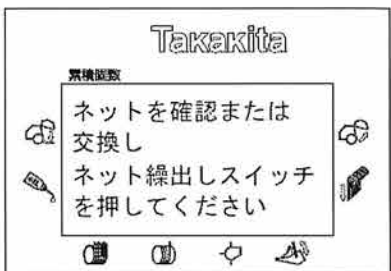
各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

【コントロールボックスの警告・エラー表示】

警告・エラー名称	警告・エラー内容	液晶表示	ブザー音
ナイフホルダ降警告	ナイフホルダが降りているときに出る警告です。 ブザー:ピー、ピー(断続音)		 断続音
キッカー降警告	キッカーが2秒以上降りているときに出る警告です。 またキッカー設定をOFFにせずにキッカーを取り外して作業すると警告が出ます。 ブザー:ピー(連続音)		 連続音
チャンバ開警告	チャンバが開いているときに出る警告です。 液晶表示:チャンバが開いています。 ブザー:ピー、ピー(断続音) 右図上の液晶表示の後に右図下の画面へ切り替わります。	  	 断続音

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

【コントロールボックスの警告・エラー表示】

警告・エラー名称	警告・エラー内容	液晶表示	ブザー音
チャンバ開・キッカー降警告	チャンバが開いており、かつキッカーが降りているときに出る警告です。 ブザー:ピー(連続音) 右図上の液晶表示の後に右図下の画面に切り替わります。		 連続音
カム回転エラー	ネット繰出しの際、カムが回転できないときに出るエラーです。 ブザー:ピー、ピー(断続音)		 断続音
ネットカウントエラー	ネット繰出し及び結束中に、ネットがチャンバ内に入っていないときに出るエラーです。 ブザー:ピー、ピー(断続音)		 断続音

作業前点検

作業の安全を確保し、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は欠かさず行ってください。

警告

- ・点検は地面が平坦で硬く、広く明るい場所を選び、エンジンやその他の駆動部が完全に停止してから行ってください。
守らないと、ロールベアラが動き出し障害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・給油、注油および回転部等の点検をするときは、必ず PTO を切ってください。
守らないと、手や衣服が巻き込まれたり挟まれたりして、障害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・点検時にカバーを開けたり、取り外した場合は、必ず元に戻してから作業をしてください。
守らないと、手や衣服が巻き込まれたり挟まれたりして、障害事故を引き起こすおそれがあります。

【点検一覧表】

点検箇所	点検項目	処置	参照ページ
コントロールボックス	電源ランプ点灯確認 作業OKランプ点灯確認	ヒューズを確認する。 電源コードの接続を確認する。 エラー表示が出ている場合は 不調診断を参照してください。	11-24, 53
ロールベアラ部	損傷がないか。 牧草くずが溜まっていないか。 ローラに牧草が巻きついていないか。	損傷がある場合はお買い上げ 先に相談する。 掃除をする。 巻付いた草を取除く。	52-54
タイトベルト	傷や破れを確認する。	損傷がある場合はお買い上げ 先に相談する。	—
タイヤ	空気圧を確認する。	不足のときは空気を補充する。	49
タイヤホイールの ハブナットのゆるみ	ゆるんでいないか確認する。	締め付けする。	—
駆動チェーン油 (オイルタンク)	オイルタンクにオイルが入って いるか確認する。	不足のときは、油圧作動油 ISO VG32 相当をオイルタンク へ入れる。	46
その他各部注油、グリス アップ	各部への注油、グリスアップを 確認する。	注油、グリスアップを行う。	47-48
各部のチェン	張りを確認	ゆるい場合は調整する。	44-45
ボルト、ナット	ゆるみ、脱落がないか。	締め付け、補充する。	—

【点検一覧表】

以上について異常が認められない場合は、エンジン回転速度を低速にしチャンバを開放したまま、3～5分間
ならし運転を行ってから作業を始めてください。

[illegible]

トラクタへの装着

⚠ 警告

- ・トラクタへの本機装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
- ・ドローバへの装着はトラクタの動きに十分注意し、2人以上の共同作業ではお互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ・ユニバーサルジョイントの接続は、必ずトラクタのエンジンを止め、PTOクラッチを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

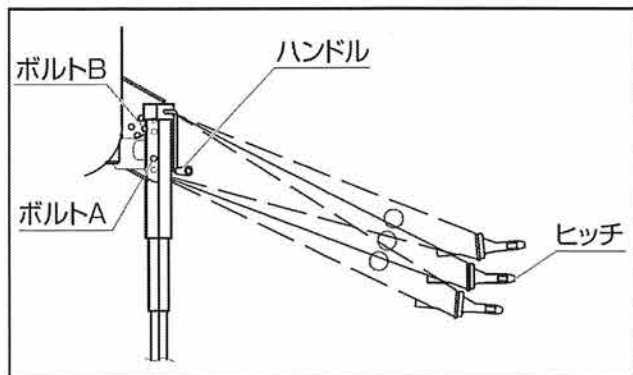
1. 装着のしかた

◆ドローバへの装着のしかた

- (1) トラクタのドローバを一番短い位置にしてください。
- (2) ロールベアラのスタンドのハンドルを操作して本機をほぼ水平にしてください。

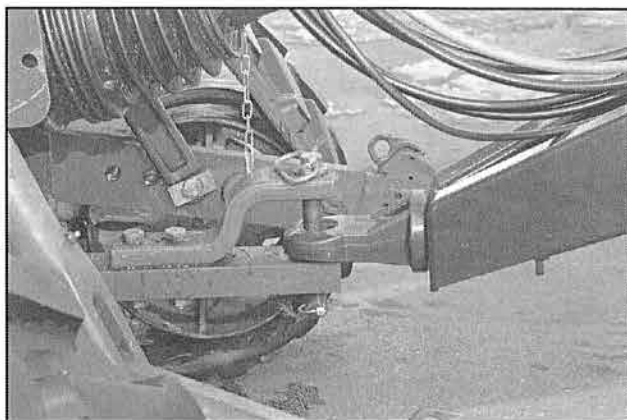


- (3) トラクタを後進させて、本機のヒッチ高さをトラクタのドローバ高さに合わせてください。
- (4) ボルトA、Bを外しヒッチをドローバにあった位置でボルトA、Bを締め付けてください。
締め付けトルクは430～530N・mです。

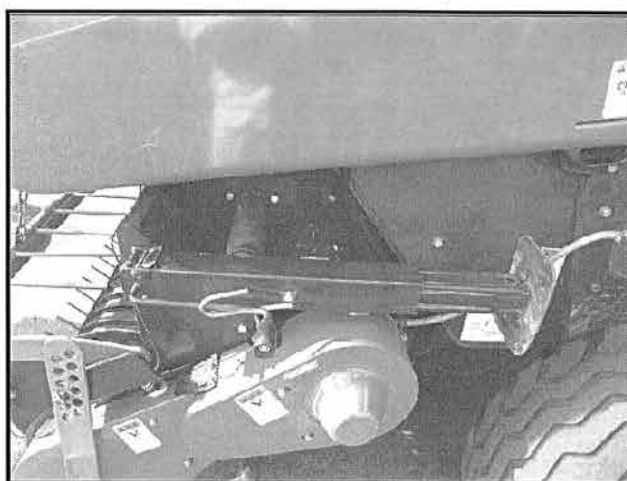


※ヒッチを180度回すと20mmの微調整ができます。

- (5) トラクタを後進し、ドローバの穴位置にヒッチ穴を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。



- (6) スタンドを短く縮めてからストッパーピンを外し、スタンド本体を機体左側のスタンドホルダに挿しこみ、ストッパーピンにて固定してください。



トラクタへの装着

2.ユニバーサルジョイントの取付け

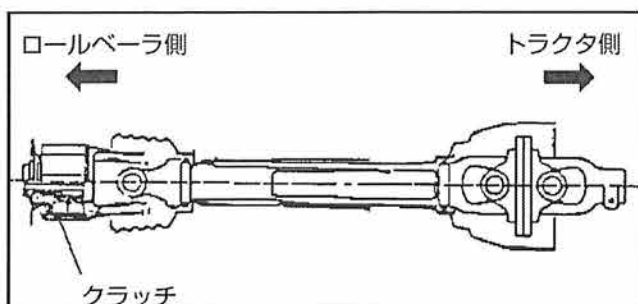
◆取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタ PTO 軸に確実に取付けてください。

注意

本機側はクラッチ付き、トラクタ側は広角ジョイントです。

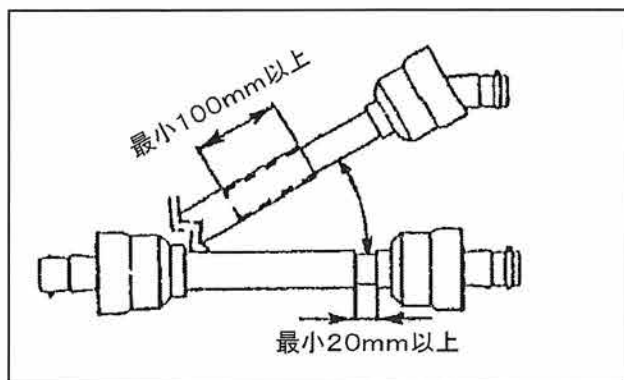
逆に取付けるとジョイントが破損する恐れがあります。



◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

先にジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

作業時のジョイント角度は、トラクタ側広角ジョイントで60°（度）、本機側で25°（度）を超えないよう調整してください。

※60° 及び25° を超えるとジョイント破損の原因となります。

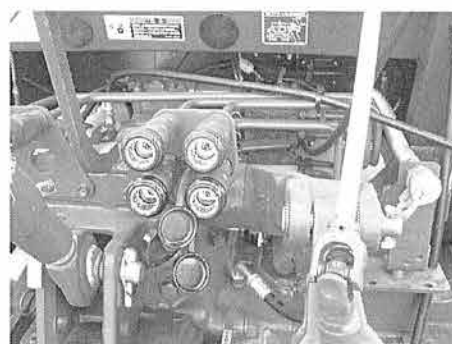
◆カバー回転止めチェンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないよう、チェンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

3.油圧ホースの接続

◆接続は残圧を抜いてから

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧操作レバーを動かして残圧を抜いてください。
- ②複動1系統、単動2系統を接続します。



- ・複動1系統はナイフホルダを上下に動かします。
- ・単動1系統(細いホース)はピックアップ装置を上下に動かします。
- ・単動1系統(太いホース)はナイフフリーとチャンバ開閉に使用します。

注意

- 油圧ホースを外すときは、トラクタのエンジンを停止した後、油圧レバーを動かして残圧を抜いてください。
- 油圧ホースをトラクタから外したときは、必ず付属のダストキャップをカップラに差し込み、ゴミや傷を付けないようにしてください。

トラクタへの装着

4. コントロールボックスの接続

◆電源の取出し

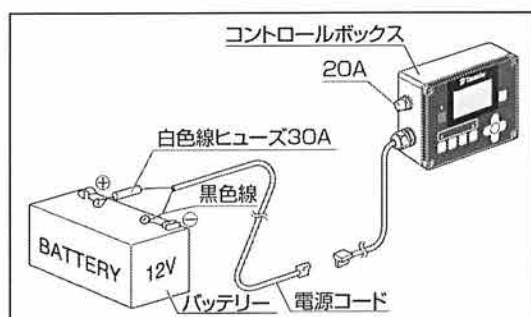
コントロールボックスの電源は、トラクタのバッテリーより取出します。

◆接続できるバッテリーの電圧は12Vです

24Vのバッテリーには接続しないでください。
間違って接続すると、コントロールボックス内部の機器が破損します。

◆(+)、(-)の接続を間違えないように

白色線はバッテリーの(+)へ接続します。
黒色線はバッテリーの(-)へ接続します。



注意

- ・(+) (-)の接続を間違えると、コントロールボックスは作動しません。
- ・バッテリーの容量不足はコントロールボックスの誤動作の原因になります。十分に充電されたバッテリーを使用してください。

⚠ 注意

- ・接続の順序は(+)側から行ってください。
- ・また、取外すときは(-)側から行ってください。

逆にすると火花が飛び危険です。

◆コントロールボックスの取付け

コントロールボックス裏側に吸盤を装着してあります。操作がしやすいように、トラクタのウインドウなどに吸着させて取付けてください。

◆配線の接続

電源コードと作業機側コードをそれぞれコントロールボックスに接続します。

配線が作業の邪魔にならないようにトラクタに固定してください。

◆液晶画面表示の確認

配線の接続が終了したら、電源を入れ液晶画面が表示されていることを確認してください。

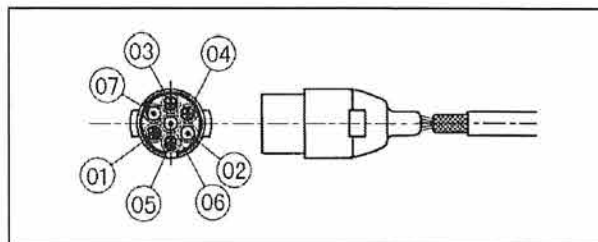
液晶画面が表示されないときは、電源コードのヒューズ(30A)が切れていないか、バッテリーの(+)と(-)が逆になっていないか、コネクタがきちんと差し込まれているかを確認してください。
(コントロールボックスのヒューズ20A)



◆作業終了後は取外して屋内保管

作業終了後は、電源コード・延長コードのコネクタより切り離し、水などがかからない屋内に保管してください。

5. 灯火の接続



端子No.	配線色	接続機器
①	白色線	アース
②	黒色線	駐車灯
③	黄色線	方向指示灯 (左)
④	赤色線	制動灯
⑤	緑色線	方向指示灯 (右)
⑥	茶色線	尾灯・番号灯・車幅灯
⑦	青色線	後退灯